

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2013年度 第3号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp

ホームページのアドレスが変わりました → <http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>



今年も収穫の秋を迎え、私どもの試験研究もいよいよ後半に差し掛かります。本号では、秋の味覚の代表であるクリ、飛騨地域特産のヤマブドウ、そして土壤病害に悩む果菜類にとっては福音となりうる、独立袋栽培に関する研究について紹介させていただきます。

● 土壤病害を回避する「独立袋栽培」の改良

県内中山間地域の夏秋トマト、夏秋ナスの土壤病害の発生抑制に有効な手段として開発した「独立袋栽培」について、さらなる改良のための研究を行っています。改良点は以下の3点です。①ぎふクリーン農業生産基準に適合した方式にします。②栽培槽水稻育苗箱の再利用品を用いコスト低減と環境負荷の軽減を図ります。③施肥を液肥でおこない、さらなる省力化と生産の安定を図ります。



● 機能性成分を豊富に含むヤマブドウ優良系統

ヤマブドウは昔から山の幸として利用され、最近ではワインやジュースの原料として増産が進んでいます。また、ヤマブドウには、生活習慣病の予防に有効な体により成分が多く含まれていると言われています。

そこで、飛騨各地の山中から収集したヤマブドウ約30系統の中から、早生で糖度が高く、機能性成分を豊富に含んだ優良系統（系統名:GH-20）を選定しました。現在、この系統の苗木を増殖中で、早急な現地普及を目指しています。



機能性成分を豊富に含む優良系統



挿し木による苗木増殖

● クリのくん蒸処理に頼らない防除体系の確立

クリの重要害虫クリシギゾウムシの防除には、これまで臭化メチルによるくん蒸処理が行われてきましたが、臭化メチルはオゾン層破壊物質として平成25年末をもって全廃となります。また、その代替技術として検討されてきたヨウ化メチルも、施設改修が必要などの課題があります。



幼虫



成虫

このため、当研究所では、本年度よりクリシギゾウムシ羽化トラップ（トンネル式）り独）果樹研究所ならびに茨城県、熊本県などクリの主産県と共同でくん蒸に頼らない防除技術の開発に取り組んでおり、農業経営課の協力を得ながら加工用途を主体とした産地における防除体系の開発を行っています。

● 8月下旬に試験研究中間検討会を開催しました。

毎年恒例となっております中間検討会を、8月28日（本所）、8月29日（中津川支所）の両日に無事開催することができました。本所と支所、二日連続で行いましたが、幸い両日も好天に恵まれ、盛況裏に開催することができました。いただいたご意見・ご質問等は、今後の研究活動に活かして参ります。出席をいただいた皆様方におかれましては、本当にありがとうございました。



来年2月13日（木）には支所、2月14日（金）には本所の成果検討会を開催します。また多数のご参加をお待ちしています。